

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 工業の振興と産学官連携の推進
 基本事業 新規企業の立地促進

事業名 **企業誘致推進事業**

[0065]

部名	経済部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	企業立地推進室参事(企業立地担当)	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 企業 事業所
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 道内外の企業・事業所を江別市へ誘致する。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集 ・企業、産業支援機関等へのパンフレット等の送付 【21年度は中止、22年度から廃止】 ・企業、産業支援機関等への訪問活動

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	企業 事業所数 (把握困難)					
対象指標2						
活動指標1	パンフレットの送付件数	件	307	200	0	300
活動指標2	企業、産業支援機関等の訪問数	社			38	100
成果指標1	立地した企業 事業所数	社	2	3	1	2
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	2,242	2,001	13,763	2,700
正職員人件費 (B)		千円	10,049	8,358	20,745	20,820
総事業費 (A) + (B)		千円	12,291	10,359	34,508	23,520

費用内訳	
21年度	旅費 700千円、委託料 13,064千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	新たな企業進出が雇用や税収の増加につながることから、企業に対し江別市が魅力ある場所であることをPRすることは大切である。	事業を取り巻く環境変化	企業の設備投資は、経済情勢等に大きく影響される。地方自治体間での企業誘致競争が厳しくなっている。
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

新たな企業の立地によりもたらされる経済効果（雇用と税収増）は、誘致に係るコストと比較しても大きいものがある。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

行政が主体的に誘致を図ることで税収の増加、雇用機会の増加、経済活動の活性化につながる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

平成18年以降企業からの問い合わせが増加しており、立地につながる事例が出ている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

江別市の持つ立地条件を活かした効果的・効率的な企業誘致活動を行う

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
 根拠は？

経済専門誌や新聞への広告掲載中止など、費用対効果が小さいと判断される事業は取り止めている。パンフレットの送付は費用対効果が少ないため、平成21年度から廃止した。